

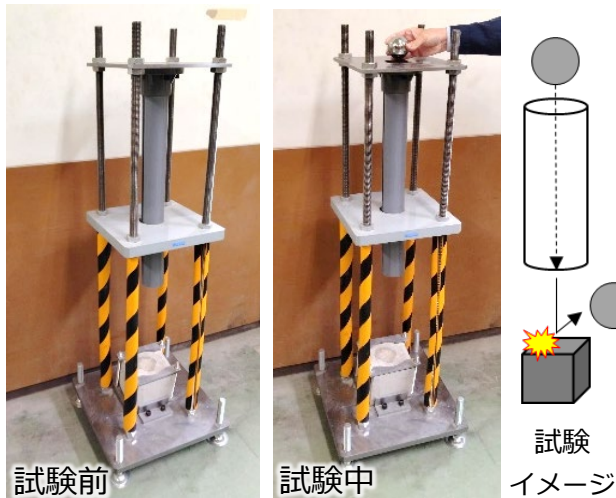


当機構では、「農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル『頭首工編』」に基づき、頭首工等に使用される材料の摩耗深さを評価する鋼球落下式衝撃摩耗試験を実施しています。

現在、全国の農業水利施設は、老朽化の進行に伴い頭首工等の約4割が耐用年数を超過しており、施設の長寿命化を図るため、適切な補修・補強工事の実施が求められています。

本試験は流水中の土砂による摩耗や落差による衝撃を受ける頭首工の耐衝撃性を確認し、適切な補修・補強工事に資することを目的としています。

I. 試験状況写真



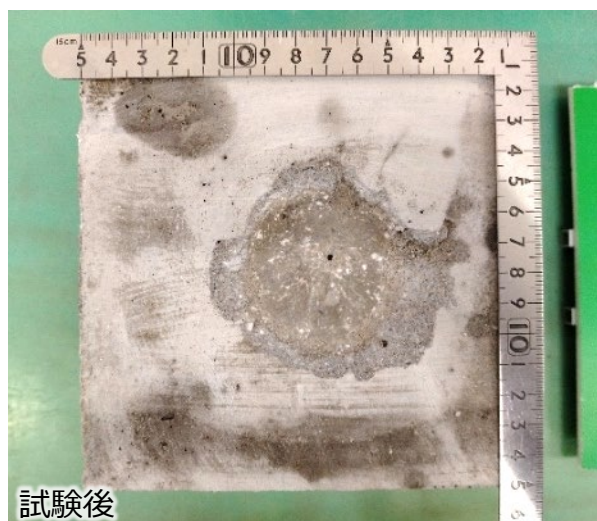
II. 試験概要

【試験方法】

- 約1kgの鋼球を高さ1 mから供試体に落下させる
- 落下回数は**500**回
- 摩耗深さの測定は試験開始前、50回、100回、300回、500回の計**5**回実施
- 摩耗深さは、レーザー距離計を用いて測定

【供試体条件】

- 原則**150×150×150 mm**の立方体
- 高さ方向については4辺の中央部分で寸法を4カ所測定し、許容差は**±5 mm**
- 1試験あたり**3**個必要



III. 品質規格値

パネル材料 最大摩耗深さ **11 mm**以下

農林水産省「農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル『頭首工編』」より

お問い合わせ先

<https://www.jqa.jp>

一般財団法人 日本品質保証機構

<マテリアルテクノ営業部>

関東営業課 〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-12

TEL 03-3474-2525 / FAX 03-3474-3021 E-mail kanto-mt-cstm@jqa.jp